

条幅規定

成家 深町 鳳月

永年の熟練の技量をさらりと漂わせながら、品格の高い作品に仕上げている。や、線の強さが均一なのは、態勢が紙に近いのでは？今後は、運腕・落筆に一考を。期待している。

条幅随意(臨書)

成家 立谷 青霞

蜀素帖の多種多様な線と全体の雰囲気念頭に置き、その特徴を活かした快作。古典から形や線を学び、成家としての自己の書の確立に努めてほしい。まだまだ伸び代十分な人。

条幅随意

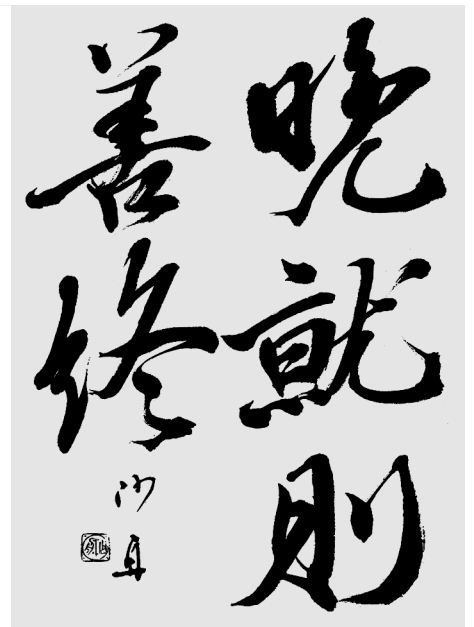
成家 阪井 浩子

作品づくりの「いろは」を十分に心得た快作。さて、この殻をどのようにして破るか。構築と破壊(はくち)冒険とチャレンジをまず月例で挑戦を。今年新しい阪井ワールドに期待している。

半折 1/2 横

師範正 登本 花徑

永年に蓄積された線と安定した字形や構成。奇抜さを排除し、「温故知新」の日本人の心を感じさせてくれる作。技術に裏付けされて正統な作品が何故か新しくも感じられる。



半紙規定

成家 下川 沙舟

リズムに乗って抑揚や全体の筆脈の貫通もあり、さらりとまとめた腕は流石成家である。用具の拘りもよく、永年の熟慮が感じられる。

半紙随意

準師範 小川 玉燐

形に捕らわれることなく、落筆高く、リズムに乗った線の立体化が作品に厚みと広がりを与え、書く楽しみが感じられる。

半紙随意(臨書)

師範正 戸田 恵華

墨量豊かに骨力のある線と確かな技術で明るく安定感のある作品になりました。「継続は力」、花開きましたね。更に精進しましょう。

風花の
まう街
羽菜

白鳥
すず

とあや
りや
かさき

輝ける
もえ

将来
の夢
夏鈴

強
信
念
山下 紘依

立冬
今富 すず

未来

輝ける
未来
中三 蔵田 青

強
信
念
唯乃

白鳥
四年 永田りんか

わたし
一ねんたじまいそら

木原 羽菜 小六 準特待生
とても難しい課題でしたが、漢字と平仮名のバランスが良く、伸びやかに書けています。頂上まであと一歩。がんばってね。

石松 沙紗 小四 4級
『ドメ』や『ハネ』の筆づかいに美しい点がありますが、力強い線にみ力があがり、有段者に負けない力を持つています。がんばってね。

山根 美咲 小二 5級
ほんしいっぱい、みさきさんの元気があふれたのびやかな作ひんです。このちようしでこれからがんばってください。

田嶋 伊空 小一 準3級
なまえまでよくれんしゅうのできたりっばなさくひんです。おしゅうじのたのしさがさくひんからつたわってきますよ。

古賀 夏鈴 中一 五段
伸びやかな線に魅力のある、明るい作品です。今後は、名前の練習にも力を入れ、完成度の高い作品を目指してください。

山下 紘依 小五 五段
力のこもった強い線で、一字一字しっかりと書けています。今後は、終筆に気をつけると完成度が増すと思います。期待大。

今富 紗珠 小三 3級
とてもむずかしうかだいでしたが、『冬』のバランスが良く、名前までしっかりと練習のできた作品です。今後は楽しんでください。

永田 鈴華 小四 準六段
さすが上位有段者の作品です。『白』と『鳥』のバランスも良く、名前も見事。今の気持ちを忘れずにこれからもがんばってください。

蔵田 青 中二・三 特待生
こつこつと積み重ねてきた努力が実を結んだ、伸びやかな作品です。今後も続けることで『書』の魅力を追及してほしいです。

藤井 唯乃 小五 四段
お手本の細部までよく観て、形よく丁寧に書けています。この調子でさらに上の段位を目指してがんばってくださいね。

永田 鈴華 小四 準六段
さすが上位有段者の作品です。『白』と『鳥』のバランスも良く、名前も見事。今の気持ちを忘れずにこれからもがんばってください。

永田 鈴華 小四 準六段
さすが上位有段者の作品です。『白』と『鳥』のバランスも良く、名前も見事。今の気持ちを忘れずにこれからもがんばってください。

学生部条幅 (1/4)

中二 六段 奥野 もえ

今富 紗珠 小三 3級

山根 美咲 小二 5級

石松 沙紗 小四 4級

山下 紘依 小五 五段

古賀 夏鈴 中一 五段

木原 羽菜 小六 準特待生

永田 鈴華 小四 準六段

藤井 唯乃 小五 四段

蔵田 青 中二・三 特待生

硬筆部最優秀作品

(12月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

ねる まえには、
かならず、いった
「エルフ、ずうつ
と、大スキだよ。」
たつたにゆづき

風がふいて、コス
モスの花がゆれ、
みんなて歌を歌っ
ているようです。
坂口陽妃

「もう、わしの病気はな
おった。百年も、百年も
長生きができるわい。
と、わらいました。」
三年 木村ゆ里愛

「もう、わしの病気はな
おった。百年も、百年も
長生きができるわい。
と、わらいました。」
野中あいみ

木は上に生えているえだ
や葉をさきえるために土
の中で大きな根が広がり、
水分や養分を送っている。
前田結衣

木は上に生えているえだ
や葉をさきえるために土
の中で大きな根が広がり、
水分や養分を送っている。
藏永緋衣子

ごみの少ない社会は、自然に
も、人がくらす環境にも、やさ
しい社会といえるでしょう。日
本の社会は、くらしやすい方向
に向かっていると思います。
清末この

シロアリの巣を作っている土に
は、目に見えないほどの小さな
穴が無数に空いていて、この穴が
呼吸するようにつつ度を調節
していることが分かっています。
野見山遥

人は成長するにつれてさまざま
なことを理解していくが、若い人
にとって大切なのは、自分を理解す
るということだ。そのためには、言
葉を「ためる」ことが重要だと思っ
た。黒木七海

人は成長するにつれてさまざま
なことを理解していくが、若い人
にとって大切なのは、自分を理解す
るということだ。そのためには、言
葉を「ためる」ことが重要だと思っ
た。矢島由翔

「亀の子束子」のみかん色の包装には
今も天然素材、快適定番、品質本位
と自信の四字が弾む。山を愛する同僚
は冬山必携の品だと言う。服や道具の
雪払いに大変重要そうである。
村上嘉子

辞務寒冷の頃、皆様におかれませは
ご健勝のことと存じ上げます。
さて、若母のこゝと、来月二十日の誕生日
をもち、七十七歳となりませ。そのまじやか
ながら、喜寿の祝いを計画し、当日午後六時
より租税を差し上げた、ご都合の許す
限り、出席賜りたく存じます。
末筆ながら、ご一同様に、くれぐれも
よろしくお伝えください。
まき日ご案内ませ。 教具

立谷 優月
小一 準4級
一じ一じかたち
よく、ていねいに
かけています。こ
のちようしでこ
れからも一まい
でもおおくれん
しゅうをがんば
ってくださいね。

坂口 陽妃
小二 2級
ペンをしようず
に使用して、一画
一画気のこもつ
た線で、しつかり
と書いています。
名前もよく書
練習のできた作
品です。

木村優里愛
小三 準1級
お手本をよく見
て元氣よく書け
ています。これ
からは、漢字よ
りも平がなをす
こし小さく書く
と、さらに良く
なると思います。

野中あいみ
小三 準3級
力のこもった強
い線でのびやか
に書いています。
このちようしで
これからもたく
さん練習し、段
を目標してくだ
さい。期待大。

前田 結衣
小四 三段
明るくすつきり
とした線で、漢
字と平仮名のバ
ランスも良く、
完成度の高い作
品です。さすが
上位有段者の作
品です。

藏永緋衣子
小四 準三段
伸びやかな線に
とてもみ力のあ
る作品です。お
手本をよく見て
形良く書けてい
て、今後がとて
も楽しみですね。
がんばってください。

清末 この
小五 準六段
ペンを上手に使
い、漢字と平仮
名のバランスが
良く明るく書け
ています。さす
が上位有段者の
作品です。今後、
期待します。

野見山 遥
小六 六段
書き始めから名
前まで、集中力
を切らさず、丁
寧に書いていま
す。今後は、ペ
ンを軽く握ると
伸びやかさが増
すと思います。

黒木 七海
中学 準特待生
気のこもった強
い線で一文字一
しつかりと書け
ています。今後
はペン(ゲルイン
ク0.5mm)にも挑
戦し、特待生を
目指してください。

矢島 由翔
中学 準六段
お手本の観察力
が見事です。細
部まで気をつけ
て、ペンを上手
に使い、明るく
まとめた点は見
事です。今後、
期待します。

村上 嘉子
一般 六段
自然なペン捌き
が見事で、格調
の高さを感じる
作品。今後は、
遅速の変化を加
味し、自己のリ
ズムの確立を目
指してください。

諸山 球子
一般 六段
文字の大小・抑
揚の変化が自然
で、伸びやかな
明るい作品です。
この調子でさら
に「上」を目指し
張ってください。